



春日クリニック

25周年企画

リレーエッセイ⑨ 読者投稿 福田 徹 さん



## 春日クリニックの思い出

25周年おめでとうございます。

それは平成6年夏の事でした。母(当時88歳)が体調不良となりました。そこで勤務医の甥に相談したところ、清田先生を紹介されました。すぐに母を伴い春日クリニックに行きました。エコーにより末期がんと診断されましたが、診断、説明、処置など適切かつ親切で、2人とも大変感謝しました。同年12月、紹介された病院で母は「最後に良い先生(清田先生)に出会えて幸せでした。」との言葉を遺して他界しました。

数年後、私も妻も高血圧の治療でお世話になりました。

平成19年7月、私の体調に変化があり受診しました。院長先生のエコーによる診断で「早期腎臓がん」が発見され、早々に紹介された病院へ入院、摘出手術を受けました。経過は良好で、すでに10年無事に過ぎました。最初の院長先生の正確な診断のおかげだと思っています。



その後も毎月通院を続けていますが、体調に変化があればその都度、理事長・院長に相談しています。いつも懇切丁寧に助言や指導をいただき、心から感謝しています。春日クリニックの先生はじめ、職員の皆さまの親切な対応、的確な診断と治療は、医療機関として最高のレベルだと思っています。

妻と二人とも高齢となりました。これからもよろしくお願いします。

⇒ 次回 上野 真理子先生



## 職員発表・講演会情報

2月24日 夢もやい館「ロコモティブシンドロームについて」

3月7日 春日小学校 学校保健委員会

● 医師 上野 真理子

2月24日には北区の夢もやい館、3月7日には春日小学校でお話をする機会をいただきました。

テーマはロコモティブシンドロームや骨粗鬆症について。高齢者や更年期世代の問題として論じられることの多い話題ですが、実は若いうちからの予防や対策がとても大切です。夢もやい館での講演では、乳幼児のお母さんとも直接話す機会を持つことができました。また、春日小学校では、小学生と実際に体を動かしながら話をすることができ、どちらもとても盛り上がった講演会となりました。



「予防」「対策」と言うと、難しく考えがちですが、大切なのは楽しく続け、習慣にしておくこと。小学校では運動に遊び心をプラスして、ゲーム形式で体を動かすことを提案しました。お金をかけずに、元気で幸せになる。今からできる「みんなで続ける仕組みづくり」を、これからも続けていきたいと思えます。